

第12回 平成27年 2月16日（月）3限 11:10～12:15

演題：「精密科学の世界－究極のものづくりと観察技術－」

講師：大阪大学工学部 准教授 有馬健太 氏

超LSIや宇宙望遠鏡、太陽電池に代表される今日の最先端の「ものづくり」で要求される精度は、物質を構成する最小単位である原子の大きさのレベルにまで迫ろうとしています。従来の「ものづくり」は、ノウハウや経験、勘に負うところが大でしたが、要求されるレベルが原子スケールになると、この様な手法は通用しません。今回の講義では、大阪大学の研究室で開発してきたサイエンス（物理や化学）に基づく独自の「ものづくり」技術の一端を紹介していただきました。また、造った“もの”の表面の原子配列を観察する最先端の顕微鏡技術についても解説していただき大変興味深く受講することができました。

